

保護者の皆様

県立横浜旭陵高等学校
校長 竹村 健二

令和7年度第2回「生徒による授業評価」集計結果について(ご報告)

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、神奈川県では例年、授業改善の取組みに資するものとして年に2回「生徒による授業評価」を実施しておりますが、今年度の本校における第2回(後期)の実施結果がまとまりましたので、次のとおりご報告申し上げます。

1 アンケート設問

大項目	番号	小項目
授業の在り方について	1	毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
	2	単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。※他者とは、他の生徒・教員等を言う。
	3	単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。
学習の状況について	4	授業の中で「できるようになったこと」が増えたり「わからない所」に気づいたりしたことがありましたか。
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。※他者とは、他の生徒・教員等を言う。
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。
認知変容について	8	4月に授業が始まってから、「自分の考え方を変えることで、自分の周りの人や出来事に対する考え方や感じ方が良い方向に変わった」という経験をしましたか。
	9	昨年度(1年次は中学生の時)よりも、自分の考え方を変えることで、授業に前向きに取り組めるようになりましたか。

アンケートの設問は、県の共通の設定項目である上記の7項目に加えて、本校独自の設定項目である「認知変容について」における2つの項目が設定されています。その各項目に対して、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」「2あまり当てはまらない」「1ほとんど当てはまらない」の4段階で評価し、回答します。

2 調査対象者数

実施したアンケートの教科毎の対象者数は次のとおりです。

教科	国語	地歴・公民	数学	理科	体育	芸術	外国語	家庭	情報	国際	総合
人数(人)	534	536	257	326	283	204	317	81	57	4	147

3 調査結果についての分析

2回目の授業評価では、「授業が分かりやすい」「意欲的に取り組めた」など肯定的な回答が多く、満足度・理解度は引き続き高い水準でした。特に、学習内容を整理し自分の考えをまとめることや、授業に前向きに参加する姿勢に成果が見られます。一方で、教科によっては、既習事項と結び付けて理解することや、学びを通じた気づき・考えの深まりの実感が十分でない傾向も見られ、知識を活用して学びを深める取組が課題としてうかがえます。

4 今後の授業改善に向けて

授業のねらいと学習の進め方を冒頭で分かりやすく示し、見通しをもって学べるようにします。その上で、「自分で考える→話し合う→共有する」学習過程を意図的に取り入れ、理由や根拠を大切にされた対話で理解を深めます。さらに、既習とのつながりを整理する活動と、授業終末の短い振り返りを継続し、「できるようになったこと」「考えが変わったこと」を言語化させ、主体的な学びと深い理解を支援していきます。

問合せ先
副校長 小原
電話 045(953)1005

5 集計結果

教科	評価	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
国語	4	40.1%	40.1%	39.7%	40.1%	36.9%	38.6%	40.3%	36.3%	40.4%
	3	47.2%	48.7%	49.6%	50.6%	51.1%	48.9%	48.3%	49.1%	48.3%
	2	10.5%	8.4%	9.0%	7.7%	9.4%	11.0%	9.7%	11.0%	8.1%
	1	2.2%	2.8%	1.7%	1.7%	2.6%	1.5%	1.7%	3.6%	3.2%
地歴・公民	4	46.6%	43.1%	45.3%	47.9%	41.4%	42.2%	43.3%	40.9%	43.7%
	3	45.9%	47.2%	46.1%	45.7%	48.1%	47.9%	46.6%	45.9%	45.9%
	2	6.0%	8.6%	7.5%	5.8%	9.3%	8.8%	9.5%	11.2%	8.2%
	1	1.5%	1.1%	1.1%	0.6%	1.1%	1.1%	0.6%	2.1%	2.2%
数学	4	46.3%	43.2%	47.9%	51.0%	42.4%	46.7%	46.7%	40.5%	43.6%
	3	44.7%	43.6%	42.8%	44.0%	45.5%	42.0%	44.4%	46.7%	45.5%
	2	5.1%	10.9%	8.2%	2.7%	9.7%	9.7%	7.0%	9.3%	7.8%
	1	3.9%	2.3%	1.2%	2.3%	2.3%	1.6%	1.9%	3.5%	3.1%
理科	4	53.4%	50.0%	51.5%	51.8%	46.3%	47.5%	52.5%	48.8%	50.3%
	3	42.0%	42.6%	40.8%	43.9%	45.7%	44.5%	42.0%	42.0%	43.3%
	2	3.7%	6.4%	6.4%	4.3%	7.4%	7.1%	5.2%	7.7%	5.5%
	1	0.9%	0.9%	1.2%	0.0%	0.6%	0.9%	0.3%	1.5%	0.9%
保健・体育	4	49.1%	48.1%	46.6%	55.1%	45.2%	44.9%	48.4%	49.8%	50.9%
	3	44.9%	43.1%	47.3%	42.0%	45.6%	49.5%	44.9%	40.3%	41.0%
	2	4.2%	5.7%	3.9%	1.1%	7.1%	3.9%	4.6%	7.4%	5.3%
	1	1.8%	3.2%	2.1%	1.8%	2.1%	1.8%	2.1%	2.5%	2.8%
芸術	4	42.6%	40.7%	41.7%	45.1%	41.7%	42.6%	39.7%	41.7%	44.6%
	3	52.0%	50.5%	50.0%	50.5%	46.6%	48.0%	53.4%	46.6%	47.1%
	2	4.4%	7.4%	6.9%	3.4%	9.8%	7.4%	5.9%	9.3%	6.4%
	1	1.0%	1.5%	1.5%	1.0%	2.0%	2.0%	1.0%	2.5%	2.0%
外国語	4	41.6%	43.5%	45.4%	43.5%	41.0%	36.9%	41.6%	35.6%	45.1%
	3	48.6%	46.7%	45.1%	47.6%	49.2%	50.5%	46.4%	50.5%	43.5%
	2	8.2%	7.9%	8.2%	7.9%	8.5%	9.8%	10.4%	11.4%	8.8%
	1	1.6%	1.9%	1.3%	0.9%	1.3%	2.8%	1.6%	2.5%	2.5%
家庭	4	42.0%	40.7%	39.5%	40.7%	38.3%	38.3%	44.4%	43.2%	43.2%
	3	51.9%	55.6%	56.8%	50.6%	54.3%	54.3%	48.1%	50.6%	51.9%
	2	3.7%	1.2%	1.2%	6.2%	4.9%	4.9%	4.9%	2.5%	2.5%
	1	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	3.7%	2.5%
情報	4	33.3%	26.3%	35.1%	61.4%	26.3%	45.6%	35.1%	35.1%	45.6%
	3	52.6%	54.4%	56.1%	36.8%	54.4%	47.4%	56.1%	59.6%	49.1%
	2	12.3%	17.5%	8.8%	0.0%	15.8%	3.5%	7.0%	1.8%	1.8%
	1	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	3.5%	3.5%	1.8%	3.5%	3.5%
国際	4	100.0%	100.0%	75.0%	50.0%	25.0%	75.0%	75.0%	75.0%	100.0%
	3	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
キャリア	4	41.5%	36.7%	41.5%	36.7%	39.5%	40.1%	43.5%	44.2%	40.1%
	3	49.0%	53.1%	48.3%	51.7%	47.6%	49.0%	46.9%	43.5%	48.3%
	2	7.5%	7.5%	8.2%	6.8%	10.9%	6.8%	6.1%	8.2%	8.2%
	1	2.0%	2.7%	2.0%	4.8%	2.0%	4.1%	3.4%	4.1%	3.4%
全体平均	4	44.9%	43.0%	44.5%	46.6%	41.0%	42.1%	44.1%	41.4%	44.7%
	3	46.6%	47.0%	46.7%	46.7%	48.2%	47.8%	46.7%	46.4%	45.6%
	2	6.6%	7.9%	7.2%	5.2%	8.9%	8.3%	7.8%	9.4%	7.1%
	1	1.9%	2.0%	1.5%	1.4%	1.8%	1.8%	1.4%	2.7%	2.5%

6 教科での分析と改善に向けて

教科	授業評価の結果から読み取れる課題など	今後の授業改善に向けて
国語	設問番号8について、その項目が最低値である科目が多く、平均的に見ても比較的低い値になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文には設問番号8に関する内容の教材が多い。教材の内容を活用した授業づくりをする。 ・国語のどんな授業でも（古典でも漢字でも）設問番号8は伸ばすべき項目である。 ・短所を改善するだけでなく、科目の特徴を活かして長所も伸ばす視点を持つべきである。 ・設問番号4の内容は改善した。授業の初めに課題と目標を提示する習慣をつけたことが改善の要因だと思われる。 ・設問番号4が改善したのは良いこと。教材の内容だけではなく、教材を使って能力を向上させる授業づくりをする意識も忘れないようにしたい。
地理・歴史・公民	すべての科目および項目で、生徒からの評価は4や3に集中しており、おおむね高い評価を得られた。設問番号3、4、5、8について、9科目中4科目の平均値が第1回授業評価時と比べて上昇した。特に第1回では、認知変容に関する設問番号8が最低値となっていた科目が多かったため、改善がみられた。一方で、設問番号6、7については、平均値が低下した科目のほうが多かった。探究科目や政治経済では、第1回授業評価時と比べて複数項目で平均値が低下した。	設問番号6、7が低下したのは、授業で得た知識の応用に難しさを感じる生徒が多いからだと考えられる。学習内容の難易度が比較的高い探究科目などは特に、こまめに復習をしたり、発問を工夫したりすることが求められる。設問番号8が改善したのは、各科目で新たな気づきや視点が得られるような学習活動を取り入れたからだと考えられる。この点については、引き続き教科全体で意識しながら授業づくりを行う。
数学	多くの項目で評価が微増し、学習のねらいの提示（設問番号1）や他者の考えを通した理解の広がり（設問番号2、8）に一定の改善が見られる。一方で、「できるようになった実感」（設問番号4）や既習事項との関連付け（設問番号7）、授業への前向きさ（設問番号9）はやや低下しており、学習内容が生徒自身の価値観の変容や主体的な学習態度の継続的な形成に十分結び付いていない可能性がある。実社会との関連付けや対話的活動が、理解段階にとどまり、自己の内面化まで至っていない点が課題である。	対話活動は継続しつつ、設問番号4の到達感を高めるために、各時間で「できたこと」を可視化する小課題や確認問題、振り返りでの言語化を導入する。また設問番号7の改善のため、單元ごとに既習事項とのつながりを板書や図で整理する。毎時間のまとめで「本時の学びがどの既習に基づき、次にどうつながるか」を確認させ、関連付けの習慣化を図る。思考プロセスを説明し合う活動に加え、関連付けをまとめる時間を確保する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての項目において、生徒からの評価は高かった。一方で、必修科目に比べ、選択科目や学校設定科目の方が、評価が高い傾向が見られた。 ・評価項目としては、設問番号1、4、8の項目の評価が相対的に低かった。設問番号1については、90分の授業展開の見通しが持てない生徒が多いと考えられる。設問番号4、8については、過去の自分と比較する場面設定が少なかったのではないかと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目で、より一層学習が難しい生徒への支援を行っていくことが求められる。 ・設問番号1については、生徒に学習の見通しを持たせるために、授業の冒頭で90分の流れや授業の目的を示す必要がある。 ・設問番号4、8については、定期的に自分の到達度を振り返らせ、過去の自分と比べられる機会を作るとよい。

外国語	英語コミュニケーションⅡ、Ⅲについては必修科目であるがゆえに習熟度にかんがりの差があり、そのことが他の科目に比べてまだまだ評価の1がいくつか見られることにつながっているのではないかな。	今回、論理・表現Ⅰについては、第1回に比べて全体的に評価が大きく上回った。このことについて教科内で検証し、今後の授業改善へとつなげていきたい。
家庭	概ね前回より改善がみられたが、設問番号1、6、7でやや評価が低い傾向があった。単元の大きなテーマにつなげるための、小テーマの目的がはっきり示せなかったことがあると考えられる。実習科目では時間が押し迫り、自身の振り返りのみで終わってしまう事が多かった。ロイロノートを使い、実際の写真や資料を示すことによりイメージを広げることができたが、考えや反省を共有する場面でうまく使うことができなかった。	設問番号1については、引き続きその日のテーマを明確にする。またその学びがどこにつながるかを理解できるように工夫する。 設問番号6、7については、振り返りの後、皆で考えを共有する場面を設け、「なるほど、わかった」を増やすことにより実生活に生かす意欲にもつなげると考えられる。 ロイロノートなどを使った授業では結果だけでなく、対話活動なども取り入れるなど活用方法を工夫できるのではないかと考える。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間に各担当が振り返りシートを用いて授業の振り返りを行っているため、設問番号1は高い評価になった。 ・設問番号6に関しては、分かっているが解決しない（動き方が分からない）等の課題が残る。 ・欠席者が多く（特に1時間目）継続して課題解決にむけて取り組めない生徒がいる。 	ケガをしないように、安全に配慮して行う。 課題を克服できるように引き続き振り返りシート等で課題解決を行っていく。
芸術	全体的に、質問に対して「ほぼ当てはまる」という回答が得られている。おおむね授業の目標が達成され、そのことが生徒にも理解されていると評価できる。一回目と大きく変わらない結果であると認識している。	おおむね授業の目標が達成されていると評価できるが、あえて言えば、課題に対して解決方法を考えるという設問に関して、値が低いのはいつものとおりである。しかし実技科目として、生徒たちが作品や実技テストなどで成果をあげているので、生徒たちはある程度、課題を解決していると考えられる。 したがって、もう少し生徒たちが自信をもって回答できるように、自覚を促していくことが大切だと思われる。
情報	設問番号5の評価が前期に比べて低くなっている。各自で操作する内容が多い単元に入り、他者の考えから自らの考えを深めるところまで至っていないと考えられる。	生徒に対して、授業の内容から自らの考えを深められるような工夫をする。 また、他者にわかりやすく伝えるための表現活動の学習を通して、自らの考えを広げられるようにする。 さらに、「授業の中で『できるようになったこと』が増えたり、『わからない所』に気づいたりしたことがあった」と回答した生徒が増加していることから、引き続き獲得した知識をもとに、自分の自信につながるような経験ができるよう工夫していく。